

教員養成教育の 自律的な質保証に挑む

—日本型アクレディテーション・システム構築に向けた自己分析活動の促進—

2019年3月2日(土)

13時30分～16時30分 [13時00分 受付開始]

会場 フクラシア丸の内オアゾ 16階 ホールB
(千代田区丸の内1-6-5丸の内北口ビルディング)

定員 100名(先着順受付)

※定員に達し次第、締め切りとし、参加不可能な場合のみご連絡を申し上げます。

参加申込方法 裏面の参加申込書により2月22日(金)までにFAX又はメールにて、お申込ください。

参加
無料

プログラム

- 挨拶：日向 信和 (教員養成評価機構理事・事務局長)
- 教員養成教育認定評価開発研究推進会議の概要説明
川手 圭一 (東京学芸大学副学長・教育学部教授)
- 基調講演「教員養成教育の質の保証・向上に関する政策動向」
柳澤 好治 (文部科学省総合教育政策局教育人材政策課長)

休憩

- 教員養成教育認定評価および自己分析活動の説明
佐藤 千津 (国際基督教大学教養学部准教授)
- 自己分析活動に関する意向調査報告
渡邊 恵子 (国立教育政策研究所教育政策・評価研究部長)
- 自己分析活動支援ツールとしての解説動画の紹介
関口 貴裕 (東京学芸大学教育学部准教授)
- 自己分析活動の実際
コーディネーター：川手 圭一 (東京学芸大学副学長・教育学部教授)
報告：自己分析活動着手の大学
コメンテーター：小林 稔 (琉球大学大学院教育学研究科教授)、森田 真樹 (立命館大学大学院教職研究科教授)



教職課程における自己分析（自己点検・評価）の実施を提案します

教職課程の質の保証・向上を図るシステムについては、中央教育審議会答申（平成27年12月21日「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」）において、国立大学法人東京学芸大学が他の国公立大学や教育委員会・学校関係者等の協力を得て実施したプロジェクトで開発した、学士課程における教員養成教育の評価システム（教員養成教育認定評価）の継続・拡大による確立への期待が表明されています。

しかしながら、同プロジェクトの方法による評価事業の実施のためには、評価する側にも、評価を受ける側にも大きな労力が生じるという課題があります。

同プロジェクトを引継いだ一般財団法人教員養成評価機構^(※)は、今年度、文部科学省の「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」により、教職課程の質の保証・向上を図る取組について研究開発を進めることとし、「教員養成教育認定評価開発研究推進会議」を設置し、第三者機関による評価事業のあり方を検討しています。

そこで、当面、実施が可能な取組として、同プロジェクトが開発した「教員養成教育認定評価基準」及び「自己分析書作成の手引き」を活用して、各教員養成機関が、自己分析（自己点検・評価）に取り組まれることを提案しています。

※ 一般財団法人教員養成評価機構は、教職大学院の認証評価を行う認証評価機関です。

参加申込書 [2月22日(金) 必着 定員100名(先着順受付)]

FAX:042-329-7889

一般財団法人教員養成評価機構
「教員養成教育認定評価開発研究の推進」フォーラム

◎メールにて申し込まれる場合には、必要事項をご記入のうえ
(e-mail:jaste@iete.jp) まで送信してください。

| | | |
|------|--------|--|
| ふりがな | | |
| お名前 | | |
| 勤務先 | | |
| 連絡先 | 住所 〒 | |
| | 電話番号 | |
| | e-mail | |

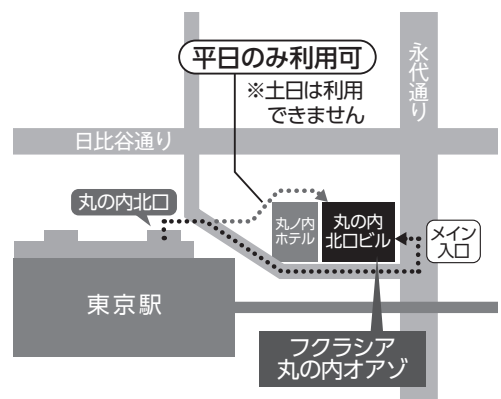
※いただいた個人情報は、フォーラムの運営以外には使用しません。

会場

フクラシア丸の内オアゾ 16階
千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビルディング

アクセス【電車】

- JR各線 ……「東京駅」(丸の内北口) 出口
- 地下鉄 丸ノ内線 …「東京駅」(M14) 出口



● 本チラシは、ホームページからもダウンロードできます。(URL://www.iete.jp/)

【問合せ先】 一般財団法人教員養成評価機構事務局 TEL:042-329-7860 / e-mail:jaste@iete.jp